

	名古屋大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	<p>医学部保健学科</p> <p>看護学専攻（第1年次：80名、第3年次：10名）</p> <p>放射線技術科学専攻（第1年次：40名、第3年次：5名）</p> <p>検査技術科学専攻（第1年次：40名、第3年次：5名）</p> <p>理学療法学専攻（第1年次：20名、第2年次：3名）</p> <p>作業療法学専攻（第1年次：20名、第2年次：3名）</p> <p>医学系研究科</p> <p>看護学専攻（M：18名、D：6名）</p> <p>医療技術学専攻（M：20名、D：7名）</p> <p>リハビリテーション療法学専攻（M：10名、D：4名）</p>
沿革・設置目的	<p>名古屋大学医学部附属看護学校、附属診療エックス線技師学校、附属衛生検査技師学校を経て、名古屋大学医療技術短期大学部が設置された後、平成9年、看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学及び作業療法学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部保健学科として設置された。</p> <p>昭和24（1949）年 名古屋大学設置</p> <p>昭和26（1951）年 医学部附属看護学校設置</p> <p>昭和30（1955）年 医学部附属診療エックス線技師学校設置</p> <p>昭和34（1959）年 医学部附属助産婦学校設置</p> <p>昭和36（1961）年 医学部附属衛生検査技師学校設置</p> <p>昭和41（1966）年 医学部附属診療エックス線技師学校に専攻科設置</p> <p>昭和44（1969）年 医学部附属診療放射線技師学校と改称</p> <p>昭和47（1972）年 医学部附属臨床検査技師学校と改称</p> <p>昭和52（1977）年 医療技術短期大学部設置</p> <p>平成9（1997）年 医学部保健学科設置</p> <p>平成14（2002）年 大学院医学系研究科看護学専攻、医療技術学専攻、リハビリテーション療法学専攻（博士課程修士課程）設置</p> <p>平成16（2004）年 国立大学法人に移行 大学院医学系研究科看護学専攻、医療技術学専攻、リハビリテーション療法学専攻（博士課程後期課程）を設置</p>

強みや特色などの
役割

- 名古屋大学の理念等に基づき、将来の保健医療を担うリーダーとなりうる、保健医療の高度専門知識と広い視野と高い倫理観をもち、現代保健医療の問題解決へ向けた研究開発マインドをもつ指導的
高度医療人を育成する。

- 総合大学に設置された医学系研究科大学院として、看護学専攻、医療技術学専攻、リハビリテーション療法学専攻の3専攻を有する特徴を活かし、現代の保健医療課題を開拓・解決する研究力開発型
大学院教育を推進するとともに、アジア地域の保健医療系大学との連携強化のもと、グローバル人材の育成を目指す。また、附属病院との連携強化を図り、現場課題に基づく教育研究の実践により、様々な保健医療職の再教育・キャリアアップの機会を提供するとともに、臨床課題解決に向けた高い研究開拓力を有する指導的
高度医療専門職の育成を推進する。

- 学内医系部局並びに附属病院との連携強化のもと、各領域の研究資源を活用した領域融合的な研究推進を図り、ライフイノベーションを担う先進的保健医療研究と、生活の質（QOL）重視の患者家族支援（ケア）の研究実践を発展させ、現代の保健医療課題の解決に貢献するとともに、保健医療学分野の学問の確立・発展を目指す。